



2 0 2 5 年 1 0 月 2 4 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

「21 世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第 21 回総会を開催



10 月 23 日、「21 世紀の鉄道を考える議員フォーラム」の第 21 回総会が開催され、国会議員はじめ、総勢約 100 名が参画した。

総会の冒頭、議員フォーラムの榛葉賀津也会長（参議院議員）は、「J R 産業において山積する政策課題の解決に向け、引き続き連携を深めたい」と挨拶し、上村良成 J R 連合会長も政策課題、とりわけ鉄道・公共交通に関わる財源に触れ、課題を解決していくと決意を述べた。

第 27 回参院選を経て 8 名の国会議員が加入！

議事は小川淳也事務局長（衆議院議員）が司会を務め、**最初に新規加入議員 8 名（衆 4 名、参 4 名）を確認した。**

その後事務局からは、J R の不安全事故について説明し、改めて安全確立に注力することを報告した。また、政策課題は、「J R 二島貨物の経営自立」「持続可能な地域公共交通の確立」「高速鉄道・新幹線ネットワークの構築と計画推進」に取り組むこと提起し、組織課題は、今後の国会審議も予定される「労働基準関係法制の見直し」に向け取り組むことを提起した。議案は出席議員の満場一致の承認を受け、連携して課題解決に臨むことを確認した。



泉健太副会長（衆議院議員）が閉会挨拶を行い、総会を締め括った。**総会を経て、本議員フォーラムは衆参 72 名（衆 50 名、参 22 名）の体制となった**（所属議員の詳細は J R 連合 H P 参照）。

総会後には懇親会も開催し、伴野豊副会長（衆議院議員）の乾杯の発声を皮切りに、選出エリア毎のテーブルに分かれた国会議員と J R 連合・各単組役員とで交流を深めた。